

フリスビーを作って飛ばそう

★ねらい 身近にある材料を使って、空を駆けめぐっておもちゃを作ることができることを体験させると同時に、良く飛ばす方法の工夫を通して活動の楽しさを味わわせる。

[対象：小学校1年生以上]

[準備物]

○材料

- ・ホース 80cm
- ・ビニールテープ 35cm×35cm
- ・両面テープ 80cm
- ・セロハンテープ 80cm

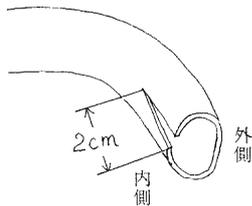
○道具

- ・ハサミ
- ・油性マジック各種

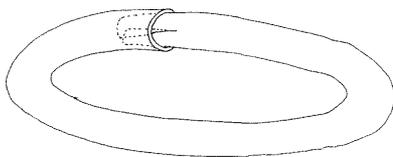
1. フリスビーの作り方

(1) ホースで骨組みを作る

- ホースの片方の切り口の内側に、2cmほどの切れ目を入れる。



- 切れ目を入れた切り口を、もう片方の口に差し込み本体となる輪の出来上がり。



(2) ビニールを貼る

- 輪にしたホースの外側に、両面テープを貼る。

- ビニールを平らな机の上などに広げる。輪にしたホースをビニールの真ん中にのせ、両面テープの接着面を包むように、軽く引っ張りながら止める。

ビニールは、ビニールハウス用のものが手に入れば、強くて良いが、ゴミ袋やビニール風呂敷(水玉模様などのものが市販されている。)などでも作れる。



- 余ったビニールは、ホースに沿って切り捨てる。このままでも良いが、ビニールの切り口をセロハンテープで止めると、はげにくくなる。

- 透明のビニールを使った場合、油性マジックなどで絵や模様を書いても良い。

2. フリスビーの飛ばし方

- 浮力が生まれるように、ビニールの面を上にして、手首のスナップを利用して水平に飛ばす。(多くの回転を加える。)

キャッチは、両手でビニールを上下からはさむようにする。

- 慣れないうちは、近い距離から相手をめがけてパスするようにし、慣れてきたらだんだん距離を遠くするようにすると良い。

- 体育館の中などで遊ぶ場合は、バスケのルールで得点を競うとおもしろい。ゴールエリアを決めて、そこを通過したら得点となる。

- ゲームが白熱すると、ビニールが破れることがあるが、少しくらいなら支障はない。たくさん破れたら、ビニールの張り替えをしても使える。